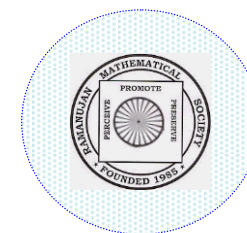


行列・作用素の研究

山形大学理学部
数理科学科

教授

佐野隆志



専門分野

数学(解析学)

キーワード

行列、作用素、不等式、

研究紹介



インド人数学者ラマヌジャン

(顔写真の絵は、ラマヌジャン数学会のマーク)

高校では一昔前は2年生の「数IIB」や「代数・幾何」で、現在は3年生の「数学C」で扱う「行列」(マトリックス)や、その一般化である「作用素」(オペレーター)を研究対象としています。そのような行列の専門家としては、次の学習指導要領で高校数学から(基本的に)行列の扱いがなくなることをとっても残念に思っています。

そのような行列・作用素の研究を、「数学」の一分野である「関数解析学」の観点から、行っています。特徴の1つである「非可換性」の扱いに苦慮しつつ「マトリックス世界」を彷徨い、固有値に関する性質(不等式評価など)などについて調べています。

研究集会



ポーランド・クラクフでの研究集会(2010・6)

相談に応じられること

出前講義(高校)

■連絡先 sano@sci.kj.yamagata-u.ac.jp